

龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例第19条及び同条例施行規則第11条の規定による「財政運営影響額」の公表資料

1. 事業概要

予算措置：龍ヶ崎市一般会計予算

【件名】佐貫駅東口駅前広場改修事業

金額：905,161千円

期間：平成27年度～平成35年度

2. 財政運営影響額

(1) 投資的経費

本事業における初期投資的費用は以下のとおりである。

年度	項目	金額（千円）	備考
27年度	委託料	7,944	
28年度	委託料	2,815	
29年度	委託料	9,602	
30年度	委託料	38,800	
31年度		0	
32年度	委託料, 工事請負費	152,000	東口公衆トイレ改修 11,000千円含む
33年度	工事請負費	144,000	東口公衆トイレ改修 44,000千円含む
34年度	工事請負費	410,000	シェルター工事
35年度	工事請負費	140,000	シェルター工事
合計		905,161	

※平成31年度は都市再生整備計画の策定等，工事施工準備・調整期間。

※東口公衆トイレ改修，シェルター工事を追加。

(2) 経常的経費

当該施設における経常的経費は、「維持管理にかかる経常コスト」として10年目は6,392千円，20年目は7,059千円，30年目は7,794千円，30年間トータルでは185,535千円と試算した。

「事務・事業運営にかかるコスト」は、10年目は843千円、20年目は932千円、30年目は1,030千円、30年間のトータルでは24,499千円と試算した。

「償還金等」としては、10年目は26,386千円、20年目は25,387千円、25年目で償還が終了し、30年間トータルでは509,066千円と試算した。

「年別合計」の試算結果は、10年目は33,479千円、20年目は33,222千円、30年目は8,653千円、向こう30年間のトータルでは715,009千円である。

### (3) 更新費用

「大規模改修・更新にかかるコスト」については、経年等による老朽化対応により、13年目に620千円、23年目に37,620千円、30年間トータルで38,240千円と試算した。

## 3. 事業の目的及び社会的便益等

現在、佐貫駅東口駅前広場は、朝夕の通勤通学のピーク時に送迎の自家用車、タクシー、バス等の車両が集中し、大変混雑している状況であり、特に駅入口付近は、歩行者動線と車両動線が交錯し、接触事故等の発生が懸念されている。本事業はそのような問題を解決し、安全で快適な駅前広場を実現するとともに、当市の玄関口に相応しい駅前広場の整備を行うものである。

当市は今後、多くの自治体同様に人口減少、少子高齢化に直面していく中で、交流人口・定住人口の維持増加につながる魅力ある都市づくりを推進していくことが喫緊の課題となっている。その中で、佐貫駅においては本市の玄関口にふさわしいにぎわいを創出し、都心への通勤圏であることの優位性を活かした都心に通えるまちづくりを進めることで、転入促進・転出抑制が見込まれる。